

平成 29 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 佐々木 宏 (ササキ ヒロシ)

(2)職 名 : 教授 名誉学長 医学教育センター長

(3)学 位 : 医学博士

(4)資 格 : 医師

(5)担 当 科 目 : 解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習 人間関係実践演習Ⅰ (医療教養)
人間関係実践演習Ⅱ (医療コミュニケーション論Ⅰ) 画像診断学

(6)研究テーマ

①神経解剖学

(7)研究業績等

①論文 Patterns of axonal collateralization of single layer V cortical projection neurons in the rat presubiculum (共著) *J. Comp. Neurol.* 519: 1395-1412
2011 年 1 月

②論文 Zonal distribution of perforant path cells in layer III of the entorhinal area projecting to CA1 and subiculum in the rat (共著) *Neuroscience Research* 74:200-209 2012 年 10 月

③総説 「脳血管をとりまく「グリア境界膜」について」 (単著) 『了徳寺大学研究紀要』第 6 号
2012 年 3 月

④論文 「日本人における膝前外側靭帯について」 (共著) 『了徳寺大学研究紀要』第 9 号 2015
年 3 月

(8)所属学会・団体

①日本解剖学会

平成 29 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 角田 透 (ツノダ トオル)

(2)職 名 : 教授 保健管理センター所長

(3)学 位 : 医学博士

(4)資 格 : 医師、労働衛生コンサルタント

(5)担 当 科 目 : 疫学、保健医療福祉行政論、産業保健看護論、保健統計学

(6)研究テーマ

- ① 生活習慣病
- ② 労働者の健康
- ③ 労働災害防止

(7)研究業績等

- ① Ichikawa K, Matsui T, Tsunoda T, Teruya K, Uemura T, Takeda N, Okamoto H & Fukazawa S :
The relationship of sleep duration and mental health with electrocardiographic findings: a
retrospective-cohort study in Okinawa, Japan. Environ Health Prev Med, 13: 227-233, 2008.
- ② Takemae R, Uemura T, Okamoto H, Matsui T, Yoshida M, Fukazawa S, Tsuchida K,
Teruya K & Tsunoda T : Changes in mental health and quality of life with dental
implants as evaluated by General Health Questionnaire (GHQ) and Health Utilities Index
(HUI). Environ Health Prev Med, 17(6) : 463-473, 2012.
- ③ 角田 透(分担):4.2.3. 異常温度環境における健康障害. 改訂 建築物の環境衛生管理 上
下巻. 改訂 建築物の環境衛生管理編集委員会. 東京、公益財団法人日本建築衛生管理教
育センター、2014. pp.270-275.

(8)所属学会・団体

- ① 日本産業衛生学会
- ② 日本産業精神保健学会
- ③ 日本ストレス学会

平成 29 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 増田 敦子 (マスダ アツコ)

(2)職 名 : 教授 総合文化研究所副所長

(3)学 位 : 看護学学士 看護学修士 医学博士

(4)資 格 : 看護師 保健師

(5)担 当 科 目 : 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学総論Ⅰ 生理学総論Ⅱ 生理学実習 人体構造・
生理機能実習 人間発達学 病態生理学 現代生物学

(6)研究テーマ

- ① 呼吸生理学
- ② 芸術療法の心理的・生理学効果
- ③ 柔道における競技力向上のための効果的なトレーニング方法の検討

(7)研究業績等

- ① 著書『身体のしくみとはたらき 楽しく学ぶ解剖生理』(単著) サイオ出版 2015年4月
- ② 論文「書道活動が前頭部の循環動態に与える影響」(共著) 了徳寺大学附属総合文化研究所『総合文化研究』第4号 51-58頁 2015年3月
- ③ 論文「柔道競技者の把持筋持久力評価のための基礎的研究」(共著)『了徳寺大学研究紀要』10:129-137 2016年3月

(8)所属学会・団体

- ① 日本生理学会
- ② 日本看護研究学会
- ③ 日本武道学会

平成 29 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 中島 琢磨 (ナカジマ タクマ)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : 博士(理学)

(4)資 格 :

(5)担 当 科 目 : 現代生物学 生化学 微生物学・免疫学

(6)研究テーマ

- ①体表点温熱刺激(ストレスフリー療法)による健康回復メカニズムの解明 - 末梢血流量増加に伴う免疫系の機能的変化
- ②ヒト正常細胞のインテグリティ維持と細胞内在性防御をつなぐ分子機構の解析
- ③歯周病原性細菌 *Tannerella forsythia* の病原性および宿主との相互作用の解析

(7)研究業績等

- ①論文 The herpes simplex virus immediate-early ubiquitin ligase ICP0 induces degradation of the ICP0 repressor protein E2FBP1 (共著) *J. Virol.* 85; 3356-3366 2011年3月
- ②論文 A bacterial glycan core linked to surface (S)-layer proteins modulates host immunity through Th17 suppression (共著) *Mucosal. Immunol.* 6; 415-426 2013年3月
- ③論文 Identification of a unique TLR2-interacting peptide motif in a microbial leucine-rich-repeat protein (共著) *Biochem Biophys Res Commun.* 423; 577-582, 2012年6月
- ④論文 E2FBP1 antagonizes the p16INK4A-Rb tumor suppressor machinery for growth suppression and cellular senescence by regulating promyelocytic leukemia protein stability (共著) *Int. J. Oral. Sci.* 3; 200-208 2011年9月
- ⑤論文 Levels of specific immunoglobulin G to the forsythia detaching factor of *Tannerella forsythia* in gingival crevicular fluid are related to the periodontal status (共著) *J Periodont Res*, 45; 672-680, 2010年7月
- ⑥論文 Effect of Stress-free Therapy on Immune System; Induction of Interleukin 10 expression in Lymphocytes through activation of CD19⁺ CD24^{hi} CD38^{hi} regulatory B Cells. (共著) *Laser Therapy.* 24; 179-188. 2015年9月

(8)所属学会・団体

- ①日本癌学会
- ②日本免疫学会
- ③American Society for Microbiology (米国微生物学会)

平成 29 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 角田 純一 (ツノダ ジュンイチ)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : 博士(医学)

(4)資 格 : 医師 総合内科専門医 日本血液学会認定血液専門医
日本医師会認定産業医

(5)担 当 科 目 : 内科学 I 内科学 II 臨床検査概論

(6)研究テーマ

- ①内科学教育
- ②血液学
- ③緩和ケア

(7)研究業績等

- ①論文 In vivo stem cell function of interleukin-3-induced blast cells (共著) *Blood* 78(2):318-22
1991 年 7 月
- ②論文 The mouse Wnt-10B gene isolated from helper T cells is widely expressed and a possible oncogene in BR6 mouse mammary tumorigenesis (共著) *Gene* 26;172(2):199-205.
1996 年 6 月
- ③論文 The Palliative Prognostic Index: a scoring system for survival prediction of terminally ill cancer patients (共著) *Support Care Cancer* ;7(3):128-33. 1999 年 5 月

(8)所属学会・団体

- ①日本内科学会
- ②日本血液学会
- ③日本癌治療学会

平成 29 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 大谷 悟 (オオタニ サトル)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : Ph.D (心理学・神経科学)

(4)資 格 : 生命科学研究指導官資格(HDR; パリ第 6 大学)

(5)担 当 科 目 : 現代生物学 認知行動科学 薬理学

(6)研究テーマ

- ①哺乳類脳における記憶形成の細胞メカニズム
- ②統合失調症発症の細胞メカニズム
- ③ストレス反応の脳内メカニズム

(7)研究業績等

- ①論文 Modulation of hippocampus-prefrontal cortex synaptic transmission and disruption of executive cognitive function by non-competitive N-methyl-D-aspartate receptor antagonist. *Cerebral Cortex* 25,1348-1361 2015 年
- ②論文 Inhibition of dopamine transporter activity impairs long-term depression in rat prefrontal cortex through over-stimulation of D1 receptors. (共著) *Cerebral Cortex* 24, 945-955 2014 年
- ③著書 『脳とニューロンの生理学: 情報伝達・発生・意識』 (共著) 丸善出版 2014 年 3 月

(8)所属学会・団体

- ①日本神経科学会
- ②北米神経科学会
- ③欧州神経科学会
- ④Frontier of Behavioral Neuroscience 誌 review editor

平成 29 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 浅野 哲一 (アサノ テツイチ)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : 医学博士

(4)資 格 : 医師 日本老年医学会専門医 日本内科学会総合内科専門医
日本神経学会専門医

(5)担 当 科 目 : 神経内科学Ⅰ 神経内科学Ⅱ 老年医学 神経診断学 疾病・治療Ⅰ (総論)
神経内科学総論

(6)研究テーマ

- ①老年期認知症の早期診断および治療
- ②生活習慣病の発症機序解明および予防
- ③末梢血管疾患への血管再生療法としての高気圧酸素療法

(7)研究業績等

- ①論文 「アルツハイマー病の海馬における自由水と結合水の変化」 (共著) 東京医科大学医学会
『東京医科大学雑誌』 2000 年 7 月発行
- ②論文 Hyperbaric Oxygen Induce Basic Fibroblast Growth Factor and Hepatocyte Growth Factor
Expression, and Enhances Blood Perfusion and Muscle Regeneration in Mouse Ischemic Hind Limbs.
(共著) *Circulation J* 第 71 卷 3 号 2007 年 3 月
- ③論文 A Novel Contrast Medium Detects Increased Permeability of Rat Injured Carotid Arteries in
Magnetic Resonance T2 Mapping Imaging. (共著) *J Atherosclerosis and Thrombosis* 第 14 卷 2 号
2007 年 4 月

(8)所属学会・団体

- ①日本内科学会
- ②日本老年医学会
- ③日本神経学会

平成 29 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 橋本 俊彦 (ハシモト トシヒコ)

(2)職 名 : 教授

(3)学 位 : 医学士、博士(医学)

(4)資 格 : 医師

日本整形外科学会専門医

日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医

財団法人日本体育協会公認スポーツドクター

(5)担 当 科 目 : 整形外科学Ⅰ 整形外科学Ⅱ 運動器画像診断学 画像診断学
スポーツ傷害論Ⅰ スポーツ傷害論Ⅱ スポーツ医学Ⅰ スポーツ医学Ⅱ
スポーツ医学特論 運動生理学 運動生理学実習

(6)研究テーマ

- ① スポーツ外傷・障害の予防
- ② スポーツ運動学
- ③ 関節炎の病態および治療

(7)研究業績等

- ① 論文 Impulsive force on the head during performance of typical ukemi techniques following different judo throws. (共著) *J Sports Sci*, 2015. Vol33, No13, 1356-1365.
- ② 論文「腱板断裂との比較による透析アミロイド肩関節症の病理学的検討」(共著) 日本肩関節学会『肩関節』第33巻 第3号 2009年
- ③ 著書『コメディカルのための運動器画像診断学』(単著) NAP 2013年4月

(8)所属学会・団体

- ① 日本整形外科学会
- ② 日本臨床スポーツ医学会
- ③ International Society for Electrophysiology and Kinesiology

平成 29 年度用 教員の情報公表内容

(1)氏 名 : 下小野田 一騎 (シモオノダ カズキ)

(2)職 名 : 准教授

(3)学 位 : 博士(医学)

(4)資 格 : 医師

(5)担 当 科 目 : 整形外科Ⅰ 整形外科Ⅱ リハビリテーション医学

(6)研究テーマ

- ①手外科
- ②スポーツ医学

(7)研究業績等

- ①論文 Large-scale screening for candidate genes of ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine. (共著) *J Bone Miner Res.* 17(1):128-37 2002年1月
- ②論文 Increased expression of humanin peptide in diffuse-type pigmented villonodular synovitis: implication of its mitochondrial abnormality. (共著) *Ann Rheum Dis.* 64(6):816-23 2005年6月

(8)所属学会・団体

- ①日本整形外科学会
- ②日本手外科学会
- ③日本臨床スポーツ医学会